

主な出来事

EVENT

2023年1～3月

	三重・愛知	全国・海外
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●名古屋市内地下鉄4駅の駅名が変更。「中村区役所→太閤通」、「市役所→名古屋城」、「伝馬町→熱田神宮伝馬町」、「神宮西→熱田神宮西」に。(1/4) ●国の「デジタル田園都市国家構想」に採択された、多気、明和など五町が、デジタル地域通貨「美村PAY(びそんペイ)」を運用開始。(1/27) ●豊明市、藤田学園(豊明市)、中部電力ミライズ(名古屋市)が、大規模災害時の藤田医科大学病院の医療救護活動の継続を目的に協定を締結。(1/27) 	<ul style="list-style-type: none"> ●高騰する電気・ガス料金に対する政府の負担軽減策による値下げが1月使用分から開始。2023年9月使用分まで(9月使用分のみ補助額は半減)。(1/1) ●スイスのダボスにおいて世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)が開催。テーマは「分断された世界における協力の姿」。(1/16～20) ●医師と薬局が処方箋をオンラインで共有する「電子処方箋」が運用開始。患者の服薬情報を医師や薬剤師が簡単にチェックすることが可能に。(1/26)
2月	<p>フォーカス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●三重県内5団体と名古屋市のNPO法人による藻場再生PJが三重県・愛知県で初めて「Jブルークレジット」として認証されクレジット発行に。(2/10) ●四日市市が2050年に温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を発表。(2/10) ●三重県営都市公園「鈴鹿青少年の森」がリニューアルオープン。ダイセーHD(株)が命名権を取得し、愛称は「ダイセーフォレストパーク」に。(2/25) 	<ul style="list-style-type: none"> ●トルコ南部のシリア国境付近でM7.8の大地震が発生。死者数はトルコ・シリア両国で5万人を超えた。(2/6) ●財務省は、税収で返済する必要がある普通国債の発行残高が2022年12月末に1,005兆7,772億円になったと発表。1,000兆円の大台突破は初。(2/10) ●厚生労働省が人口動態統計の速報値を発表。2022年の出生数は79万9,728人と、統計開始以来初の80万人割れで過去最少を更新。(2/28)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ●四日市市は、集落維持や地域再生を目的として市内の市街化調整区域にある空き家を賃貸住宅として利用できるような規制を緩和。(3/1) ●名古屋ウィメンズマラソンが、4年ぶりに沿道からの応援を可能とした形で開催。豊橋市出身の鈴木亜由子選手が日本人トップの2位となった。(3/12) ●JR名古屋駅前の商業施設「名鉄レジャック」(1972年開店)が、同駅一帯の再開発構想を前に、建物の老朽化と賃貸借契約満了のため閉鎖。(3/31) 	<ul style="list-style-type: none"> ●米国でシリコンバレー銀行をはじめとする米国の中堅銀行が相次ぎ経営破綻。UBSがクレディ・スイスを買収するなど金融不安が連鎖。(3/10以降) ●5月8日の新型コロナウイルス「5類感染症」への移行を見据え、政府はマスク着用のルールを緩和。マスクの着用は個人の判断に委ねるとした。(3/13) ●野球のWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)が開催。日本は予選から全勝で、3大会(14年)ぶり3度目の優勝を果たした。(3/8～22)

2023年4～6月の予定

	三重・愛知	全国・海外
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ●三重大学が半導体分野に関する技術者の育成や研究推進のため、「半導体・デジタル未来創造センター」を同大学内に設置。(4/1) ●アウトドアブランドのノルディスクといなべ市がコラボレーションしたキャンプ場「ノルディスク ビュッゲ サークルズ 宇賀溪」がグランドオープン(4/3) ●G7三重・伊勢志摩交通大臣会合が志摩市にて開催。会場は2018年の伊勢志摩サミットで会場となった志摩観光ホテルが候補地に。(6/16～18) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本銀行総裁に、元日本銀行政策委員会審議委員で経済学者の植田和男氏が就任。前任の黒田総裁は歴代最長となる2期10年在任。(4/9) ●所有者不明土地の解消に向け、不動産登記制度等を見直す民法等一部改正法(4/1)や、土地を手放し国に帰属する相続土地国庫帰属法が施行。(4/27) ●G7サミットが広島県にて開催。会場は広島市のグランドプリンスホテル広島が候補地。日本が議長国を務めるのは今回で7回目となる。(5/19～21)

フォーカス

三重県・愛知県で初めて「Jブルークレジット」の認証を得たブルーカーボン・クレジットが発行

2023年2月10日、「三重県熊野灘における藻場再生・維持活動」プロジェクトを対象とした「Jブルークレジット」がジャパンプルーエコノミー技術研究組合(JBE)より発行されました。同プロジェクトは三重県内5団体(紀北町、南伊勢町、三重外湾漁業協同組合、三重大学藻類学研究室、鳥羽市水産研究所)と名古屋市のNPO法人SEA藻が共同実施したもので、JBEによる三重県・愛知県内で初の認証となりました。「Jブルークレジット」は、JBEが認証・発行・管理する独自のクレジットであり、海域で吸収・貯蔵されるCO₂である「ブルーカーボン」を定量化し売買できる仕組みです。熊野灘における藻場再生・維持活動プロジェクトは、海の砂漠化といわれる「磯焼け」の原因の一つとされるウニの一種ガンガゼの駆除や、海藻の種を出す母藻の設置に取り組み、2017～2022年の5年間で約48万個のウニ類を駆除したことで、28.9トンのCO₂を吸収したと認められました。